

地域の人たちに色々教わることって結構ありますね。

■どんな課題を感じていますか。

黛さん：集落支援は、新しい人を入れることももちろんですが、現状維持が結構重要になってきています。農地保全も、私のミッションだと思っています。農地保全も高齢化の問題があって、また来年っていうのがもう効かないエリアだなんて思います。この1年にとにかくやれることは全部やる。もう1年1年が勝負ですね。そこが課題ですけど、でもみなさん明るいですね。一緒に草刈りとかやりますけど私でも疲れているのに次の畑に向かっていて。本当に驚くと同時に尊敬しかありません、経験値ですよ。

■地域とはどのように関わっていくのがよいと思いますか。

黛さん：変えずに変えていくことって重要だなんて思っています。この地区の人たちが本当に変化を望んでいるのか、60年間以上守ってくれた人たちが、変えることに対して本当にいいと思っているのか、っていうのをしっかり確認してからじゃないと、何かここは変えるべきですよ、みたいので全部やっちゃうのもよくないなと思っています。あとは、日常生活の困りごとなども目にするので、様々な勉強会とか、もっと地域に入って状況を把握して、情報がどんどん集約できるようになれば、困ったときはとりあえず黛さんに

言えばいいやってなるといいなと考えています。

■今後の活動についてお聞きします。

黛さん：キッチンカーを買う予定です。惣菜を定期的に仕入れて販売とかしてみたいですね。自分にできることがまだまだあるんじゃないのかなっていうのは、日々の中で、模索しているところが多いです。色々な情報を見るとこれを安中でやったらどうなんだろうとか、秋間地区でできるんじゃないかとか、そういうことはやっぱり考えます。これまでの自分の経験を活かして、提供した場をきっかけに人と人がつながって広がっていく関係をつくっていききたいですね。

■議員や議会に対する印象や期待することなどありましたらお願いします。

黛さん：地域を良くしていきたいなっていうときに、地域の議員さんとか、首長さんとか色々な方たちと連携してやっていくことが地域づくりじゃないのかなって感じています。行政と市民の距離が近い安中のコンパクトさが他の場所にはない魅力だなんてめちゃくちゃ感じるんですよ。ここまで近くで逆にこうやってお話が気軽にできる、自分の話も聞いてもらえる環境はすごいラッキーだなんて思っています。議員さんとコミュニケーションを取る場が今後もあればすごくいいなと思います。

黛 若葉さん

令和3年10月1日から
令和6年9月30日まで
安中市地域おこし協力隊
として活動。

令和6年10月1日から
安中市集落支援員。

